

「第3回 健康寿命をのばそう! アワード」

受賞企業・団体・自治体決定

11月18日、東京・千代田区の都市センターホテルで、「第3回 健康寿命をのばそう! アワード表彰式(主催 厚生労働省)」が行われた。応募総数は2分野合わせて294件、3回目となる今回は「生活習慣病予防分野」から厚生労働大臣賞 最優秀賞1件、優秀賞3件を含む19件が、今回より加わった「介護予防・高齢者生活支援分野」から厚生労働大臣賞最優秀賞1件、優秀賞3件を含む10件が表彰された。



「生活習慣病予防分野」厚生労働大臣 最優秀賞を受賞した「須坂市保健指導員会」



「介護予防・高齢者生活支援分野」厚生労働大臣 最優秀賞を受賞した「むつみ元気支援隊」



第3回 健康寿命をのばそう! アワード表彰式



受賞自治体・団体・企業の皆様 上:生活習慣病予防分野 下:介護予防・高齢者生活支援分野



受賞自治体・団体・企業

生活習慣病予防分野

厚生労働大臣 最優秀賞

須坂市保健指導員会
「市民の健康を願って『自分の健康は自分でつくり守る』保健指導員の健康づくり活動」

厚生労働大臣 優秀賞

【企業部門】
株式会社イトーキ
『「Workcise (ワークサイズ)」働きながらオフィスで健康増進』

【団体部門】
一般社団法人江戸川区医師会
「最先端の江戸川スタイル ～あなたのリスクを見える化! 健診当日に保健指導を受けてみんなスマイル!～」

【自治体部門】
熊本市(熊本県)
「全ての市民が生涯を通して、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちを目指して ～ネットワークで守る市民の腎臓(そらまめ)～」

厚生労働省健康局長 優良賞

- 【企業部門】
 - 株式会社LCウェルネス
「健康寿命日本一の浜松から発信!おいしい・うれしい・たのしい地域(まち)～食環境整備の取り組みと推進～」
 - 株式会社グリーンハウス
『「スマメシ・あすけん・あなたの健康サポート」を使って社食で進める生活習慣病予防、重症化予防の取り組み』
 - 株式会社フレスタ
「ヘルシスト(最上級の健康)スーパーを目指して ～私が挑む『健康宣言』仲間と創る『健康経営』～」
 - ヤマトグループ健康保険組合
『「会社」「労組」「健保」の3者で実施する禁煙への取り組み』
- 【団体部門】
 - NPO法人・熟年体育大学リサーチセンター(JTRC)
「科学的根拠に基づく健康寿命延伸の方策を『信州モデル』として全国の自治体、団体、医療機関、民間企業へ発信」
 - 公立大学法人名城大学健康・長寿サポートセンター
「“てるしの”の輝き!名城大学『健康・長寿プロジェクト』—離島地域の活性化を目指す自治体・大学参加型の健康支援—」
 - 地方独立行政法人市立吹田市民病院
「市立吹田市民病院 世界COPDイベント『肺の健康診断』～測ってみよう肺年齢(第1～5回)」
 - 日本禁煙推進医師歯科医師連盟
「eラーニングを用いた禁煙治療・支援のための指導者トレーニングプログラムの開発と普及(J-STOP)」
- 【自治体部門】
 - 加東市(兵庫県)
「夢がきらめく☆元気なまち加東 ～加東サンサンチャレンジ～」
 - 山形市(山形県)
「健康ウォーキングを中心とした市民の総合的な健康づくり —自然環境等の地域資源を活用した上山温泉アクト事業の一環として」
 - 北名古屋市(愛知県)
『「つなぐ」市民と行政の架け橋となる健康ドームでの活動 ～実践現場がもつ保健・医療・福祉データを活用した事業展開～』
 - 総社市(岡山県)
「健康インセンティブで市民・地域の力を引き出す“これがそうじゃ流”」
 - 箕輪町(長野県)
『「健康づくり日本一」の箕輪町を目指して～コミュニケーションで地域力を高め、健康づくりの輪を拡げよう～』

厚生労働省保険局長 優良賞

- 全国健康保険協会大分支部
「中小企業(事業主)とのコラボヘルス『一社一健康宣言』事業」
- パナソニック健康保険組合
「職場と家庭の健康づくり運動『健康パナソニック2018』」

介護予防・高齢者生活支援分野

厚生労働大臣 最優秀賞

むつみ元気支援隊(山口県萩市)
「むつみ愛サービス」

厚生労働大臣 優秀賞

- 【企業部門】
なごか医療生活協同組合(新潟県長岡市)
「診療所サポート型地域ケアシステム」
- 【団体部門】
NPO法人みんなの元気塾(京都府相楽郡精華町)
「元気塾サロン」
- 【自治体部門】
いなべ市(三重県)
「元気づくりシステム」

厚生労働省老健局長 優良賞

- 【企業部門】
 - 株式会社ホクノ(北海道札幌市)
『「まちかどよろず相談会」の開催』
 - 有限会社社内ケアセンター(北海道日高郡新ひだか町)
『「有」社内ケアセンター福祉社構想』
- 【団体部門】
 - 特定非営利活動法人 陽だまり(広島県東広島市)
「会員制たすけあい活動『陽だまりクラブ』」
 - 三関昔を語る会(秋田県湯沢市)
「三関昔を語る会」
- 【自治体部門】
 - 高知市(高知県)
「認知症カフェ(えいとカフェ)」
 - 北杜市(山梨県)
「通所型予防サービス(ふれあい旭北杜)」

「健康寿命」をのばすために、2分野で地域の力が高く評価

「健康寿命をのばそう! アワード」は、生活習慣病予防の啓発などの優れた取り組みや、地域包括ケアシステムの構築に向け介護予防・高齢者生活支援に関して優れた取り組みを行っている企業、団体、自治体を表彰する制度。2011年より厚生労働省が推進している「スマート・ライフ・プロジェクト」が掲げる4つのテーマ(適度な運動・適切な食生活・禁煙・健診・検診の受診)を中心に、健康増進・生活習慣病の予防への貢献等に資する優れた啓発・取り組み活動に対して表彰している。本プロジェクトは、長寿国として世界をリードする日本において、より長く健康で自立した生活を送ることができる「健康寿命をのばそう!」という目的が目的だ。

「生活習慣病予防分野」で、厚生労働大臣 最優秀賞に輝いたのは、須坂市保健指導員会(市民の健康を願って「自分の健康は自分でつくり守る」保健指導員の健康づくり活動)。須坂市は保健指導員制度発祥の地で、昭和33年から市民の健康増進に向け、健康に関する

生活習慣病予防分野の評価委員である健康日本21推進全国連絡協議会会長、公益財団法人健康・体力づくり事業財団理事長、下光輝一氏は「企業、団体、自治体による多様な連携と住民の方々の主体性と協力の力が健康長寿社会をもたらすという希望を感じた」と講評。介護予防・高齢者生活支援分野の評価委員長である東京大学名誉教授、大森彌氏は「このアワードを通じ、地域における地道な取り組みに光が当た

る学習を实践、家族や地域へ広げる活動をしており、保健指導員経験者は現在7000人となっている。(介護予防・高齢者生活支援分野)で厚生労働大臣 最優秀賞を受賞した「むつみ元気支援隊」がある萩市むつみ地区は、高齢化率が50.36%(平成26年10月31日現在)で過疎化も進んでいる。同団体は、高齢者が抱える日常生活の困りごとを住民共助で支援し、地域の交流拠点づくりをする中で、住民を支えている。

「当日は、「いきいき健康大使」として活躍している三浦雄一郎さんと、二男の三浦豪太さんによるトークショーも行われた。健康法にはふたつある。守るだけでなく攻めの姿勢が必要。私はトレーニングのおかげで怪我や病気の快復が早くなった。でも一番はエベレストに登ろうという目標が私の健康を支えてきた」と三浦雄一郎さん。

国民の誰もが健康や、心豊かに生活できる活力ある社会を実現するために、一人ひとりが自らの健康に強い関心を持って生活し、個人の健康づくりの取り組みを企業、団体、地域社会など、社会全体で応援していくことが必要。国民の健康寿命が延伸する社会の構築につながるために、本アワードの取組みの発展に期待したい。



プロスキーヤー、冒険家 三浦雄一郎氏

(みづら・ゆういちろう) 2013年、80歳にて3度目のエベレスト登頂(世界最高年齢記録更新)を果たす。



プロスキーヤー、博士(医学)/PhD. 三浦豪太氏

(みづら・こうた) 博士(医学)/PhD.(順天堂大学大学院医学部・加齢制御医学講座)、同大学非常勤助教授。

いきいき健康大使とは?

国民が健康で幸せに暮らせる社会を作るためには、健康寿命をのばすことが課題。2013年より「いきいき健康大使」に任命されたのは、三浦雄一郎氏(プロスキーヤー、冒険家)、有森裕子氏(女子マラソン五輪メダリスト)、平原綾香氏(シンガーソングライター)の3名。健康寿命をのばすために必要となる生活習慣病予防に向け、国民一人ひとりの健康づくりに対する意識を変革していくための活動を続けている。



<http://www.smartlife.go.jp/>

スマートライフ

検索



スマート・ライフ・プロジェクトとは

「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした厚生労働省の国民運動。2014度からは、運動、食生活、禁煙の3分野におけるアクションの他、健診・検診の受診を新たなテーマに加え、さらに健康寿命をのばすことを、参画する企業・団体・自治体と協力・連携しながら推進している。